

ぼらっと

絆

『ぼらっと』とは「ぼらりと」気軽に、「ボランティア」しましょう!!という造語です。

発行元

〒020-0541 雫石町千刈田82-2

雫石町総合福祉センター内

雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

電話/692-2230 FAX/691-1140

e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp

<http://www.shisha.or.jp/>

社協のBlogもチェックしてネ!

8・9 雫石を襲った水害! ～雫石町災害ボランティアセンター設置～

八月九日(金)、雫石町を未曾有の豪雨が襲いました。被害にあわれた町民の皆さまにお見舞い申し上げます。同日正午、雫石町災害ボランティアセンターが設置されました。



北日本には、九日早朝から活発な雨雲が流れ込み、局地的に雨雲が発達。猛烈な雨で甚大な被害となりました。雫石町での降り始めから午後3時までの雨量は、観測史上最大となる261ミリを記録し、甚大な被害をもたらしました。被害状況は、八月十九日現在で、以下の通りとなっております。

全壊	3件	半壊	45件
住家床上浸水	22件		
住家床下浸水	86件		
非住家床上浸水	66件		
非住家床下浸水	92件		
土砂災害	102件		



災害ボランティアセンターを設置したところ、十日に五件のボランティア依頼から始まり、数日で六十件以上の依頼が寄せられました。依頼内容は、主に大量に泥が流れ込んだ家屋の泥出しや清掃作業、濡れた畳の運搬など多種多様で、地域によっても、作業内容も様々で要望も多様化して

います。



災害ボランティアセンターでは、災害のあった九日当日から、ボランティア活動をしてくれる方を募集したところ、次の日からボランティアの方々が集まってくれました。その行動力に驚くと同時に、散乱する土砂の中に光が射す思いがしました。



ボランティアの方々からは、「雫石で人が足りないうって聞いたから、駆けつけました。」という声や「テレビで被害の様子を見てあわててきました。」という声が聞かれました。裏面では、その活動を紹介します。



まだまだボランティアの人員が不足しています。作業は、八月三十一日(土)まで継続します(ボランティアの派遣依頼は終了しています)。災害からの復旧のためには、毎日百名ぐらい、ボランティア活動をして下さる方が必要です。是非、皆様のお力をお貸しください。受付等の手続きは、当日でかまいません。汚れてもいい服装でお越しください。よろしくお願ひします。



栗石町災害ボランティアセンター ボランティア活躍中!



①

① 朝、9時過ぎ。受付の後、けが予防のために全員でラジオ体操をします。皆さんなんだか少し、懐かしそう…。オリエンテーションで、活動の仕方や安全の確認して、いざ、出発!!



②

② 9時30分過ぎ作業開始。皆で泥をかぶった物を運びだします。災害に遭われた方にとっては、大事な物もあります。心配りも必要です。



③

③ 中に入った泥を掻き出します。水分を含んでいるのでなかなかの重さです。それでも、ボランティアの皆さんは一生懸命掻き出します。所有者の方は、「どこから手を付けていいのか…。」との声。ボランティア方の手にも力が入ります。



④

④ 床下に入った泥は、床板を外して中から泥を掻き出します。ボランティアの方々の中には、様々な技術をもったプロのような方も多くいらっしゃいました。



⑤

⑤ 泥だけでなく、流木やガレキも流れ込みます。黙々と作業を続けるボランティアの皆さんには頭が下がります。

編集後記

8月9日の災害に際し、被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。また、復旧復興のため、がんばって頂きましたボランティアの皆様感謝いたします。



被害にあわれた依頼者の方からは、「被害の大きさに心が折れてしまい、片づけをやらなければならないと思いながらも前に進めずにいました。ボランティアの方々に手伝っていただき、こんなにきれいにしてもらって、もう一度、頑張ろうと思うことができました。」という声が聞かれました。ボランティアの皆さんの底力を実感しました。